

受験番号	
名 前	

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。  
 次のような報道を例に、具体的に考えてみよう。

サッカーの人気チームで監督が辞任することになり、Aさんが新しい監督になるのではないかと注目が集まっている。

ここで、まず大切なのは、メディアが伝えた情報について、冷静に見直すことである。この報道の中で、「Aさんは、報道陣をさけるためか、うら口からにげるように出ていきました。」

というレポートがあったとする。これを聞くと、あなたは、①Aさんが何かをかくしているように思わないだろうか。しかし、うら口から出たのは、その方向に行く必要があったからかもしれない。こう想像してみると、「報道陣をさけるためか」というのは、レポーターがいただいた印象にすぎない可能性がある。また、急がなければならない理由があったのかもしれないから、「にげるように」も印象だろう。このように、②想像力を働かせながら、一つの言葉について、『事実かな、印象かな。』と考えてみるのが大切である。このレポートから、印象が混じっている可能性がある表現を取りのぞくと、結局、確かな事実として残るのは、「Aさんは／うら口から／出ていきました」という言葉だけになる。ここには、Aさんが次の監督になると判断する材料は何もない。

しかし、こんな新聞記事も出たとしよう。

「Aさんは、来月から予定していた外国での仕事を、最近、キャンセルした。」

この表現には、印象は混じっていない。だから、これは事実として、監督就任の有力な情報であるように感じられる。だが、ここで、『他の見方もないかな。』と想像してみよう。その仕事は、相手側の都合で、急にキャンセルせざるをえなかったのかもしれない。他の見方もありうることに気づけば、③この事実もまた、Aさんが次の監督にちがいないと考える決め手にはならないのである。

問一 メディアの情報を受け取るときに、まず大切なことは何ですか。

情報について、( ) ( )

問二 ①「Aさんが何かをかくしている」と思ってしまう原因になる表現を本文中から十字以内で二つ書きぬきなさい。

( ) ( )

( ) ( )

問三 ②「想像力を働かせながら」とありますが、波線部分「Aさんは、報道陣をさけるためか、うら口からにげるように出ていきました」について、どう想像してみるとよいのですか。次のア～エから合うものすべてに○をつけなさい。

ア Aさんは、うら口の方向に行く必要があったのかもしれない。

イ Aさんは、報道陣をさけているのかもしれない。

ウ Aさんは、新しい監督になりたいのかもしれない。

エ Aさんは、急ぐ理由があったのかもしれない。

問四 ③「この事実もまた、Aさんが次の監督にちがいないと考える決め手にはならない」とありますが、来月から仕事をキャンセルしたという事実が決め手にならないのはなぜですか。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

菊野脩は、机に肩肘をついて、開け放った窓の外をながめていた。

先にクラスが終わった低学年の男の子たちが、校庭に描かれたコートでフットサルをしている。五人だけでやるサッカーみたいなものだから、どことなくバスケットにも似ていて、脩には馴染みやすい種目だ。

うわあっと、突然、歓声が湧いた。キーパーのミスで思いがけなくゴールが決まったのだ。

脩は自分もその場に飛び出したくて、(①)してしまふ。本当だったら、ぼくらだってもう外に出られる時間なのに。そして、それから後、しばらくはこの校舎に戻ってこなくて済むのに！

②急にねたましく思えてきて、脩は校庭から目をそらした。でも、教室の中を見ている、退屈で仕方ない。だから、校庭のフェンスの向こうに続いている③親水公園に目をやる。

暑いせいか人もまばらで、中央を流れる桜川は銀色の光の帯になってキラキラ輝いていた。脩が引越してきた春、遊歩道の桜並木に信じられないほどの量の桜の花がついていて、まるで薄ピンクの雲のようだった。それが今では、敷地の半分くらいを覆っている雑木林の緑が濃い。夏にカブトムシやノコギリクワガタが普通にみられるのは区内でここだけだと脩は聞かされていた。(ア)

しばらく見ていて、脩は目をしばたいた。

銀色の帯の中に④なにか動くものがある。自慢じゃないけれど、脩は目がとてもいい。逆行気味で、この距離からでも、くっきりその動きが見えたのだ。(イ)

黒々として這いずるような動き……突然、すつくと立ち上がって、しばらくその場に佇んでいたと思えば、ゆっくり歩き出す。なんとなく人のように見えなくはない。でも、顔が尖っているみたいで、変だ。

誰かが遊んでいるのかなあ、と思う。(ウ)

瞬きをした途端、そいつは消えていた。

きつとなにかの間違えだったのだろう。でも、⑤胸がそわそわするような、変な感覚が残った。(エ)居心地が悪くなって、脩は視線を教室内に戻した。

黒板の前では、担任の鬼澤先生が八月の林間学校について長々と説明している。さっきからずっとそうなのだ。ほんと、いつになったら終わるんだろう。わざわざ説明しなくたって、プリントに書いてあるのに。

ぼくたちは、閉じ込められている、と思う。⑥よりによって、こんな時に！

小学校五年生の一学期最後の日。転校してきて初めての夏休みが本当に今もう目の前まで来ている。先生は生徒たちがワクワクしているのが癪で⑦意地悪をしているとしか思えなかった。(川端裕人『川の名前』)

※ねたましい：うらやましく、にくらしい しばたいた：しきりにまばたきをした

這いずる：地面に体をすりつけるようにして動く 佇む：歩いてきてしばらく立ち止まる

癪：腹が立つさま

問一 (①)に入る言葉として最もふさわしいものを、次のア～エから一つ選び、記号に○をつけなさい。

ア せかせか イ はらはら ウ くさくさ エ うずうず

問二 ②「急にねたましく思えてきて」とありますが、ねたましく思った理由について説明した次の文の( )に当てはまる言葉を十字でいど書きなさい。

・脩たちは( )の( )に、先にクラスが終わった低学年の男子たちは校庭に出てフットサルをしているから。

問三 ③「親水公園に目をやる」とありますが、脩が親水公園に視線を移している部分はどこまでですか。当てはまるものを文中の(ア)～(エ)から一つ選び、答えなさい。

( )

受験番号	
名前	

問四 ④「なにか動くもの」とありますが、脩が目にした「動くもの」の様子がえがかれている一文をさがして、初めの五字を書きなさい。

問五 ⑤「胸がそわそわするような、変な感覚が残った」とありますが、このときの脩の心情として当てはまらないものを次のア～エから一つ選び、記号に○をつけなさい。

- ア 忘れてしまふのがいちばんいい。      イ 何か自分の中で納得がいかない。
- ウ もしかすると大変なものを見たかもしれない。      エ 現場に行ってちゃんと確かめてみたい。

問六 ⑥「よりによって、こんな時に！」とありますが、「こんな時」とはどんな時ですか。解答らんに合うように書きなさい。

- ・明日から      ( ) の日。

問七 ⑦「意地悪をしている」とあるが、「意地悪」とはどうすることを指していますか。

三 次のぼう線①～③と同じ漢字を使うものをア～エからそれぞれ一つずつ選び、記号に○をつけなさい。

- ① ゲン密に言う。      ア ゲン実と理想。      イ ゲン格な父に育てられた。      ウ ゲン外にこめている。
- ② 奇ソウ天外な話。      エ ゲン界に挑戦する。      オ 知識のゲン泉
- ア 服ソウをととのえる。      イ 文化をソウ造する。      ウ 和楽器の演ソウをきく。
- エ 新しい思ソウが浮かぶ。      オ ソウ合的に判断する。
- ③ 答えのコウ補が現れた。

- ア 図画コウ作。      イ コウ義に出席する。      ウ 親孝コウをする。
- エ コウ雪が観測される      オ 天コウが不安定だ。

四 次の漢字について、部首名をひらがなで書き、総画数を漢数字で書きなさい。

- ① 松      部首名 ( )      ・総画数 ( )      画
- ② 社      部首名 ( )      ・総画数 ( )      画
- ③ 郡      部首名 ( )      ・総画数 ( )      画
- ④ 辺      部首名 ( )      ・総画数 ( )      画
- ⑤ 関      部首名 ( )      ・総画数 ( )      画

五 次のぼう線部とほぼ同じ意味のものを次のア～エから選び、記号に○をつけなさい。

① わけもわからず泣いてばかりだった。

- ア 彼は自分に得なことばかり考えている。      イ 彼は泣きださんばかりの表情になった。
- ウ 彼は立ち直るのに二日ばかりかかった。      エ 彼は今だとばかり勢いよく攻め立てた。

